

リアトリス
liatris spicata
(キク科)

塊茎状の肥大茎を分割して繁殖する宿根草である。春から秋にかけての出荷が中心で、いくつかの品種があるが、切り花用には濃いピンクの花色をもつ‘鐘輝’がほとんどを占める。仏花としての利用が多い。茎の先端から中程の葉腋に花序を密に着生して、これが上から下に向かって開花(舌状花の花弁が総苞葉から伸長)する。一方、順次先端の花序から花弁が萎れて老化していくので、やがて開花花序がなくなって日持ちを終了する。糖処理は花序の開花を促すが、茎葉の黄変や褐変の障害発生をもたらすので、急激に与えないように注意が必要である。

1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
開花	A: 先端の花序が開花する 全花序の B: 1/3程度が開花する C: 1/2程度が開花するが、先端の花序の花弁が萎れる D: 花序の開花が止まり、開花花序の2/3以上で花弁が萎れる	後処理により花序の開花が促される。
花弁の発色不良	新たに開花した花序について A: 正常に発色する B: ややあせて発色する C: 激しく発色不良となる D: ほとんど発色がみられない	
葉の黄変・褐変	A: 黄変なし B: 葉先2cm程度が黄変 C: 葉先の黄変が基部方向へ進行する、あるいは、苞葉の葉縁が黄変 D: 黄変が基部まで進行して、葉、苞葉が全体的に黄色くなる	高濃度の糖処理や急激な後処理剤の吸収は、葉の褐変障害を引き起こす。また、糖は茎葉の黄変を促す。
その他	病虫害の発生、茎基部の腐り、茎の曲がりなど	

2) 留意点

下葉を取り除いてからいけ水に挿す。

乾いている切り花では、あらかじめ水で水あげを行った上で、後処理剤の溶液に移して品質評価を開始する。

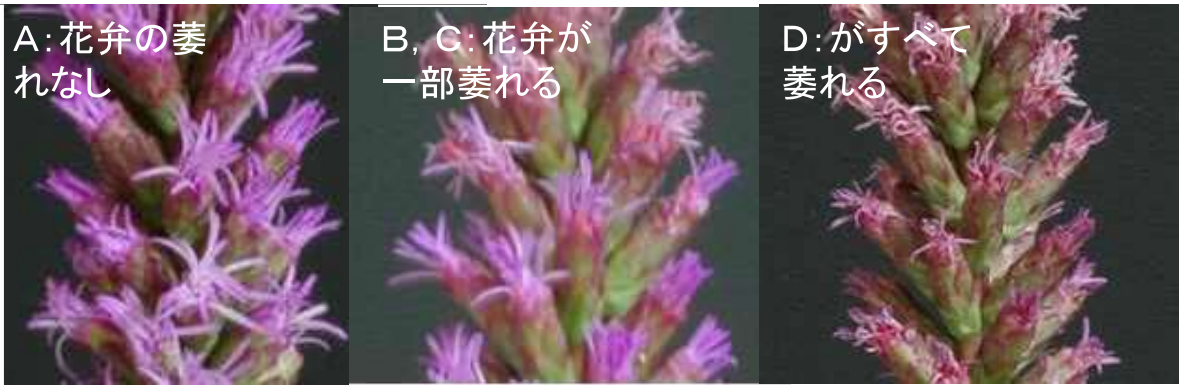
強い水ストレスを受けたり、糖の過剰障害により葉に褐変症状が出る。

茎の曲がりは栽培上の問題で、収穫後に軟弱になって曲がることはない。

3) 開花



4) チェック事項



花弁の萎れ



花弁の発色不良

